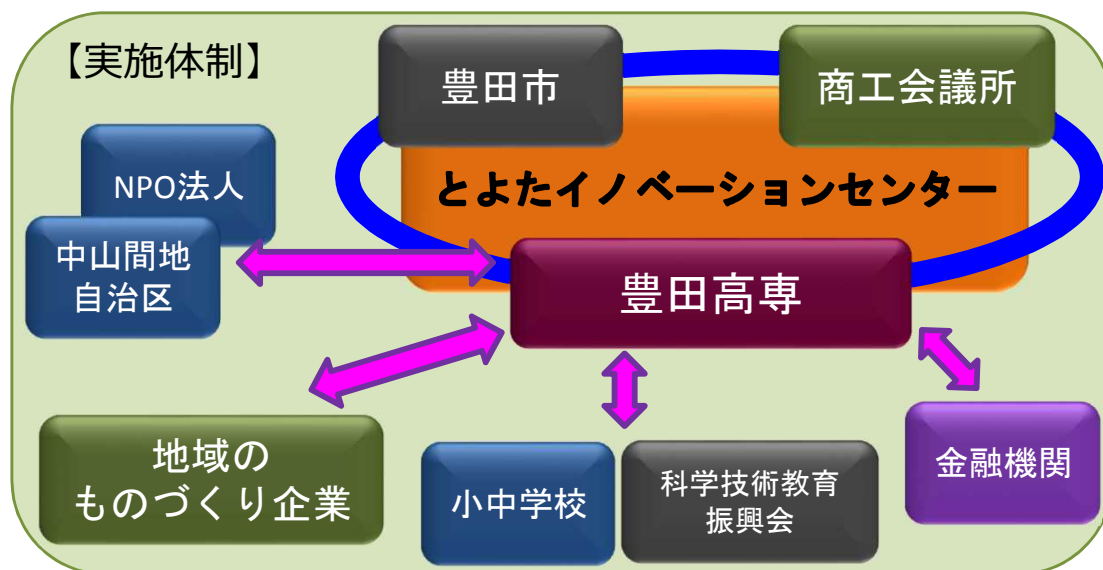


【取組の目的、内容】

わが国有数の製造業集積地である「豊田地区」において、自治体・地元産業界・銀行・市民と高専が連携することで、産学官金民を巻き込んだ統合型地域連携体制を構築し、「人材育成」「技術・経営相談」「新技術・新産業創出支援」等の活動を通して、地域発イノベーションの創出に寄与する。

【工程表】



H29年 4月～	「とよたイノベーションセンター」の組織基盤の強化 産学連携によるPBL型人材育成プログラムの企画・立案 中山間地活性化プログラムの企画・立案
H29年 7月～	産学連携によるPBL型人材育成プログラムの運用 産学連携による社会実装教育プログラムの企画・立案 科学技術啓発事業用教育プログラムの企画・立案
H29年 10月～	産学連携による社会実装教育プログラムの運用 事業進捗状況の点検・評価
H30年 1月～	科学技術啓発事業用教育プログラムの運用 事業の外部点検・評価
H30年 4月～	外部点検・評価を受けた事業改善案の企画・立案 改善策を盛り込んだ事業の実施および点検・評価

【成果指標】

- 新設されるセンターを拠点とした新技術・新産業創出支援セミナー・イベントを開催：新規5件以上
- 「産学連携実践セミナー」を始めとする企業連携教育の実践事例：  
6件（過去2年間の実績）→ 10件以上（支援期間（2年間）中の合計）



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- とよたイノベーションセンターの組織基盤の強化により、地域のものづくり企業に対する支援の安定化と充実を図る。
- 様々な企業と連携した共同教育プログラムを開発し、実践的な技術者教育を加速させる。